

障害の種類	配慮、支援内容	支援学生数			支援を受けた学生からの評価(フォームス回答)
		2023	2022	2021	
発達障害	<ul style="list-style-type: none"> ・課題管理 ・課題提出期限の延長 ・定期試験時間延長、別室受験 ・履修登録のサポート ・授業出席の確認 ・保護者連絡 ・ピアサポートの活用 	14	13	6	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な進捗が苦手なために卒業論文作成で行き詰まっていたが、修学支援を利用して進捗の指示を多くもらい完成させることが出来た。 ・前年度ではまともに計画を立てられず、行き詰まっていたところを今年度受けて無事に卒業までたどりつけて修学支援を利用して良かった。
精神障害	<ul style="list-style-type: none"> ・課題管理 ・課題提出期限の延長 ・保護者連絡 	17	11	10	<ul style="list-style-type: none"> ・期限等を配慮してもらい、レポートを提出することが出来た。 ・自分の症状に合わせて試験配慮をしてもらうことが出来た。
肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> ・車通学の許可 ・体育での運動制限 	2	1	1	—
聴覚障害	座席配慮	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・右側の前列に座ることで、聞きとりにくいといったことがほぼなかった。
視覚障害	—	0	0	0	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・課題管理 ・課題提出期限の延長 ・定期試験時間延長、別室受験 ・履修登録のサポート ・授業出席の確認 ・保護者連絡 	6	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・病気になり、大学に行けない状況になったが、修学支援により授業を受けることができ、単位もとることができた。(潰瘍性大腸炎の学生)